



仲間と守る 仲間の住むまち

地域防災の要として活躍する消防団。区の代表として、「東京都消防操法大会」に出場する野方消防団で活動している方に話を聞きました。

第1分団 班長
鈴木孝太さん
(建設業)
2003年3月入団



父が団員で、子どもの頃から訓練を見学していました。団員に合わせて友達と一緒に敬礼するなど、訓練のまねをして遊びましたね。

18歳の時に入団したのも、自分にとっては当たり前という感覚。実は、祖父や曾祖父も団員だったんですよ。

— 団での活動や印象に残っていることは

私は、可搬消防ポンプなどで標的への注水を担当する1番員。そのため、メインの活動はとにかく訓練です。日頃の訓練の成果を競う都大会の出場前には、土曜日以外毎日訓練という生活が続いたことも。

印象に残っているのは、火事で出動したことですね。近くの人誘導や交通整理に当たりました。これだけ訓練を重ねていても、実際の現場では、言葉に表せない思いがあります。

また、長年活動していた先輩の団員が受勲したことも心に残っています。地域の役に立ち、認められているということを間近で実感しましたね。

1番員としてホースの先端を担う鈴木さん。地域の防災訓練での指導なども行います▶



— 苦労に勝るやりがいはなんですか

掛け替えのない仲間ができることですね。率直に言うと、団の活動は大変なことも多いですが、その分、団員同士の結びつきはとて強いんです。

また、地域の方の知り合いも増えました。地区まわりの警戒を行うなど、消防団は町会とのつながりも強いんですよ。町会の方から「よっ、1番員」と冗談交じりに声を掛けてもらえることがあり、それがうれしいです。

これからも団員として、みなさんが住むまちを守っていきます。

～こんな活動も～

台風19号の警戒に当たりました

10月12日(土)、野方消防団は台風の被害に備えて区内の警戒活動を実施。沼袋で発生した、道路を塞ぐ枝折れの応急処置などを行いました。

まちの身近な消防団

～私たちが消防団員です～

会社員・学生・主婦(主夫)など、本来の仕事を持ちながら、緊急時にはいち早く現場に駆けつけ、消防署と連携して消火や救護活動を担う消防団。野方消防団にも、さまざまな職業の方が所属しています。

日頃から消火や応急救護訓練、広報活動などを行っているみなさんからのメッセージを紹介します。



第3分団 団員
水島万貴さん
(病院職員)
2019年1月入団

人の役に立ちたいという思いが強く、入団前は海外でボランティア活動をしていました。

団の活動では、写生会のモデルやデイキャンプでの指導など、子どもたちと接する機会が多く、元気をもらえます。また、消防団の制服を着ているといういろいろな人が頼ってくれるんですよ。活動日が集中する時もありますが、とても充実しています。



第8分団 団員
渡邊ひかるさん
(学生)
2017年4月入団

大学2年生の時に入団。「学業優先だから」と、団員のみなさんがサポートしてくださるので、気負うことなく活動を続けられています。

活動を通じて、「防災はひとつとではない」と強く実感するようになりました。こうした思いを込め、行政と地域のつながりに役立つことができれば、と思っています。

団本部 副分団長
渡邊肇さん
(自営業)
2007年4月入団



応急手当指導員の資格を取得し、救命講習を行っています。講習を受けた人が、その後実際に救命に携わったことも。感謝状を見せに来てくれた時は、本当にうれしかったですね。

消防団は活動の場が広く、女性も活躍しています。「大変そう」というイメージだけでなく、少しでも関心を持ってもらえるとうれしいですね。

一緒にまちを守ろう！ 消防団員募集



18歳以上の健康な方は、年齢や性別を問わずどなたでも入団できます。報酬が支給され、公務災害の補償などの制度も整っています。関心のある方は、下記の間合せ先へ連絡を。

間合せ先

中野消防団本部(中野消防署内)
☎(3366)0119
野方消防団本部(野方消防署内)
☎(3330)0119
特別区消防団入団サポートダイヤル
☎0120(119)588

総合防災訓練にご参加を

地域防災係/8階
☎(3228)8932
FAX(3228)5658

どなたでも参加できる、区主催の訓練です。当日直接会場へ。

日程 12月8日(日) 主会場 南台小学校(南台3-44-9)

時間・内容

第1部 午前9時～9時45分
スタンドパイプを使った初期消火訓練など
☆南中野地域の各所で実施

第2部 午前9時45分～正午
体験型の訓練や防災関係機関による普及啓発・体験コーナーなど ☆主会場で実施。
スタンプラリー形式で行い、入退場自由



▲昨年の様子